

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第6区分
【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公開番号】特開2008-230701(P2008-230701A)
【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)
【年通号数】公開・登録公報2008-039
【出願番号】特願2008-26516(P2008-26516)
【国際特許分類】

B 6 5 D 85/42 (2006.01)

B 6 5 D 75/36 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/42 A

B 6 5 D 75/36

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月28日(2010.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ランプを包装するプリスター包装であって、
両面に開封ガイドを有する台紙と、
台紙の表側に取着されるカバーと、を備え、
前記台紙の表側に設けられた開封ガイドの間隔は前記ランプのバルブ径よりも小さく、
かつ、前記ランプの口金径よりも大きい
ことを特徴とするプリスター包装。

【請求項2】

前記開封ガイドはミシン目と切り溝とであって、
前記ミシン目の間隔は前記ランプのバルブに向き合う位置において当該バルブ径よりも
大きく、

前記台紙の表側に設けられた切り溝はミシン目に囲繞されている
ことを特徴とする請求項1に記載のプリスター包装。

【請求項3】

前記切り溝は台紙の端部に達しており、当該端部が開け口となっている
ことを特徴とする請求項2に記載のプリスター包装。

【請求項4】

前記カバーは、前記ミシン目と前記切り溝とに沿って前記台紙を開封した状態で、前記
ランプのバルブを前記台紙にて支持しながら、前記ランプの口金をプリスター包装の外へ
取り出せるように、前記バルブを回転させる空間を有する
ことを特徴とする請求項2または3に記載のプリスター包装。

【請求項5】

前記開封ガイドは、台紙の主面に斜交して貫通するように形成されたミシン目であって、
前記台紙の裏側におけるミシン目の間隔は前記ランプのバルブに向き合う位置において
当該バルブ径よりも大きく、
表側におけるミシン目は裏側におけるミシン目に囲繞されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプリスター包装。

【請求項 6】

ランプを包装するプリスター包装であって、
両面に開封ガイドを有する台紙と、
台紙の表側に取着されるカバーと、を備え、

前記台紙の表側に設けられた開封ガイドの間隔は前記ランプの最大径よりも小さく、かつ、前記ランプの最小径よりも大きい

ことを特徴とするプリスター包装。

【請求項 7】

前記カバーは、前記ランプに当接するように台紙側に突出する緩衝部が設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のプリスター包装。

【請求項 8】

前記ランプを包装した状態で前記台紙の端部を下にしてプリスター包装が正立するように、

前記カバーの前記端部に近い部分が、前記台紙から離れるように突出するスタンド部となっている

ことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のプリスター包装。

【請求項 9】

前記台紙の前記端部とは反対側の端部に近い箇所に吊り下げ穴が設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のプリスター包装。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のプリスター包装と、前記プリスター包装に包装されたランプとを備えることを特徴とするプリスター包装体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】プリスター包装およびプリスター包装体